

会 議 結 果

会 議 名	平成30年度第1回西尾市社会教育審議会
日 時	平成30年8月9日(木) 午前10時分～12時00分
場 所	西尾市役所 41会議室
出 席 者	委 員：木村昌保、榊原康三、伊藤 篤、倉内千晴、山下清幸、植田康裕、 羽佐田芳和、颯田 洪、安井克彦、尾崎啓子、杉浦久男、松井直樹、 (敬称略) 松原満男、鈴木英男、加藤充和、石川始史、犬塚 順、梅田 稔、石原 毅、 (※欠席委員1名) 事務局：尾崎教育長、永谷教育部長、内藤教育部次長、筒井生涯学習課長、鈴木スポーツ 課長、石川文化振興課主幹、今井図書館長、事務局職員2名、
傍 聴 者	0人
議 題	1 平成29年度社会教育事業報告について 2 平成30年度社会教育事業計画について
結 果 等	<p>○会長、副会長の選出 委員からの互選により会長は石原毅委員、副会長は杉浦久男委員が選出された。</p> <p>○議題</p> <p>1 平成29年度社会教育事業報告について ※生涯学習課・スポーツ課・文化振興課・図書館のそれぞれの所管課長等が29年度に実施した主な社会教育事業や施設利用等について、『平成29年度 社会教育事業報告』により説明。</p> <p>〈委員からの主な意見・要望・質問〉 →は回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の精査〈意見〉 放課後子ども教室の対象は子どもと保護者も巻き込む活動がないとすると家庭教育事業では無く、一つ前の青少年教育事業の報告の中に入るべき事業かなと思います。 親子講座開設状況、親子で子育ての仕方を学ぶのであれば、家庭教育の事業に入ってくるのではないかと、それぞれ事業の狙いがあるので、区切りが違っていると狙いと対策がずれてきてしまう。そういった点で、事業の狙いや具体的な中身が一致した形で成果が見えるようになるといいかなと思いますので、この区切りがこれでいいのかお考えください。 →昨年の会議で委員の方からご指摘いただいたところだと思います。その後で厳密な精査ができていませんでしたので、もう一度ご意見を持ち帰り、次年度以降に活かしていきたいと思います。 ・第62回中部日本剣道大会〈質問〉 スポーツ大会の『第62回中部日本剣道大会』がありますが、私は卓球の方に関わっていて、中部日本大会とか東海大会とかありますが、その場合は各地区の持ち回りで開催しています。剣道大会については中部日本大会の会場が西尾で続いているのではないかと思います、なぜですか？というのも、市の委託料ということで、大会に関して40万5千円が払われております。各地区で委託するのでしたら、こういったことが毎年生じないと思いますのですが、こういった西尾市の方向と現状がどうなっているのかお聞きしたいです。 →委員の方からご質問のありました『中部日本剣道大会』でございます。剣道といえば西尾ということで今年も全国大会でも良い成績を収めております。他の事業団体の方には失礼かもしれませ

んが、剣道は西尾の伝統ということで非常に力を入れております。継続しているということで今の西尾市の剣道の強さがあると認識しております。

・チューリップコンサート〈質問〉

チューリップコンサート2017ですが、N響の演奏者も参加していると聞いていますが、関係者のお話では、来年度以降の実施についてわからないと伺いました。また、いい演奏者が来ている割にはあまり広報がされていないように思えます。今後、補助金カットでできなくなる可能性があるのかと、周知・広報をどのようにやっているのか。

・塩焼きの塩田体験館〈要望〉

塩焼きの塩田体験館ですが、塩焼き体験が、土鍋に塩水を入れポータブルコンロを使用していました。塩が出来るのはわかるのですが、今一感動が伝わってこなかった。子どもにとってはワクワク感が醸し出されるようなひと工夫が必要ではないかと思いました。

・社会教育施設であっても西尾市以外の方の参加も大歓迎だと思うので、商工観光課などを通してPRしていく必要である。西尾市の観光メニューの中の一つに位置付けていくことをしてやっていかれると、もう少し賑やかになるのではないか。

→チューリップコンサートは文化事業として市のほうが100%委託事業として昨年まで実施しておりました。元々は西尾小学校の事業としてやっていたのを、途中から文化振興課の文化事業として引き継いで実施していましたが、同じ人が継続してやっているのがどうか？といったご意見もあり、今年は実行委員会を立ち上げ、こちらを主としてやっていただきます。今しばらくは少し休止という形であります。今後についてはまた検討します。

お客さんが少ないということにつきましては、市の広報、ホームページで行っているのですが、クラシックということで、値段は安いので良いと思うのですが、少しPR不足であったのかなと思われま。

→塩田体験館であります、コースが2つありまして、一つが簡単に30分位でできる土鍋のもの、もう一つは1日コースで塩田に塩水をまいて行うものですが、こちらは結構時間が掛かってしまいます。中々時間を取れない方には難しいと思いますが、土鍋については小学生が塩が出て感動されていると思われるのですが、工夫については1年考えたいと思います。パンフレット・PRにつきましては、主に県内の小中学校にパンフレットを送付し、観光ガイドの方にも、依頼しております。クラブツーリズムなどにもお願いし、団体でみえる方お客もかなり増えております。お客さんとしては増えている状況ですので、今後も観光協会などにPRをお願いしたいと思います。

・講座の開設数〈提案 賛同意見あり〉

凄いな数の講座と事業を行って職員の方は大変だろうなと思います。逆に言うと講座・事業が多すぎて職員がてんてこ舞いじゃないと危惧しています。講座の数を増やすのではなく、減らす方向でも少し考えて、集約するなり、また民間に任せる部分は民間に任せるなりといったことを考えていかないと職員の人々が事業をやるのが手いっぱいになって、本来の社会教育の大事な業務が疎かになってしまうのではないかとそれを心配しています。

会長 事業について、増やすのではなく、もう少し先を見据えて縮小というか、ポイントを押さえてやってはどうかということ。それぞれの課が関わってきますので、幅広い視点に立って少し考えてはどうかということで、課長・主幹さんそれぞれ持ち帰っていただいて精査してもらおう方がいいと思います。

2 平成30年度社会教育事業計画について

※生涯学習課・スポーツ課・文化振興課・図書館のそれぞれの所管課長等が30年度に実施する予定の主な社会教育事業や施設利用等について、『平成30年度 社会教育事業計画』により説明。

〈委員からの主な意見・要望・質問〉 →は回答

・補助金〈要望〉

西尾市少年少女発明クラブについてお金の問題でぜひ考えていただきたい。発明クラブは人気があり、現在は昨年よりも2倍の児童・生徒から申し込みがあり、ニーズに対応するため、これまでは毎月土曜日実施していたのですが、今年は多くの子ども達が機会を受けられるように隔週土曜日開催としました。今年度は計画書に記載されているとおり補助金額は維持されていまして、大変ありがたいと思っております。児童・生徒が2倍となっておりますがこの金額をキープしていただき、次年度は出来れば継続、あるいはプラスが出来るとありがたい。クラブ活動は非常な成果を上げておりまして、昨年度は自分が見ていて初めてですが、全国大会チャレコンに出場しました。西尾市の子ども達はこれに出ることができたのは、本当に素晴らしいことなので、モノ作りのレベルが上がった、西尾市が産業を支える子ども達を育てているといったことを考えて継続していただくとありがたい。

→発明クラブは現場に出させてもらって、その活動そのものには関心をさせていただいております。補助金の関係ですけどご指摘の通り、平成30年度の補助金につきましては、基本的には5%カットというところがあるのですが、実際子ども達の数が増えて、その活動にかかる負担を踏まえて30年度はカットではなく現状維持といった形となっております。子どもが増えていく中でいろいろな経費が掛かるということで、企業からの寄付金を集める活動も活発に行っている中、市としても現状維持の形でしていきたいと思っておりますが、いろいろ考慮しながら引き続き確保できるように所管課としてはお願いをしたいと思っております。

・補助金〈質問〉

先ほどと同じ補助金ですが、子ども会の補助金が増額されていますがその理由は。

→子ども会補助金の増額ですが、申請をするうえで1単位子ども会に対し3,000円と子どもの数に500円といった形で補助金の方を単位子ども会に交付しております。実際に単位子ども会の数が減っているのですが、30年につきましては子どもの数が増えたことで増額となっております。

・記載内容〈要望〉

スポーツ課・文化振興課の予算的なところが全く記載されていない。そういった記載があると対比がし易かったと、さ来年度に対する比較だとか提案がし易かったと思っております。

→お尋ねの予算が記載されておらず金額が明確になっていないというご指摘でした。計画書それから、29年度実績報告書を比較していただきたいのですが、まったく同じ表ではありませんが、実績の方では委託料ですとか補助金の方をスポーツ課としては計上していると考えております。ただ、残念ながらスポーツ課の方は経常経費5%カットの影響を受けていることを報告します。また、今後の表記にいたしましては他の課とも協議しながら統一的な表記にしていきたいと考えております。

・指定管理〈質問〉

公民館・ふれあいセンター等のところで指定管理と直営とあるのですが、今、指定管理が

4か所の形になっていて今後も指定管理を増やしていく方法だと昨年度伺いましたが、そこからの進捗若しくは指定管理をどこまで広げていくのかといった話が聞きたい。

→指定管理については、昨年度のこの会議で指定管理を増やすといった発言をしたのか記憶がないのですが、基本的には今現在の指定管理の福地・米津・八ツ面につきましては、会館の経緯を踏まえて地元の絡みが大きかったということで、地元の方と団体の方に指定管理という形でさせていただいております。一色町公民館につきましては、再配置の関係でSPCの方に指定管理を、また今後どうなっていくかわかりませんが、吉良の方につきましても場合によっては指定管理といった形になっていくと思います。地域に密着した公民館・ふれあいセンターというのは重要であると思いますので、そういったお声があった地域の方団体等に館を運営していきたいといった話がありましたら、その状況等を考えまして検討していきたいと思います。

→スポーツ課関係の指定管理におきましてはふれあい広場、ホワイトウェイブこちらの方が指定管理、指定管理の中でも利用料金制をとっております。利用料を取っていない指定管理というのは、実質上委託と変わらないのかなと、やはり、頑張っただけ以前に比べて受注者にいかないとあまり民活にならないのかということで、ホワイトウェイブとか教育部の所管ではありませんが、道の駅などは非常に民間の力を借りているのではないかと考えています。今後も契約の指定管理料が、我々職員が直営よりも安いことで受け手がいて利用料金制ができ、地元の企業が受けていただけるのであれば、市内の中で経済が回っていくことになれば前向きにスポーツ課として検討していきたいと考えております。

・吉良町女性の会<質問>

30年度の計画の補助金に『吉良町女性の会』という名称になっているが、29年度の報告には『西尾市女性の会補助金（吉良町女性の会）』となっているが、内容が何処にも見えてないが、どこかに活動内容が記載されているのか。

→女性の会の補助金の件ですが、名称が違いますけど同じであります。報告書等には掲載しておりませんが、防災関係や福祉関係の方の活動を主にやっております。なお、女性の会につきましては、今年度を持ちまして解散となる予定ですのでご報告をさせていただきます。

平原地域の散策道<要望>

・前回、平原町の山にかなりの方が登山されて体力の維持をしていただいているわけですが、その折に、町内全域に亘ることなので検討させていただきますといった言葉があったのですが、今年に入って県警のヘリコプターが2回ほど遭難とケガで来ています。毎月何回かはパトカーが来て、かなりの方が平原の山の中で遭難しています。今までに大きなケガは聞いたことが無いのですが、かなり危険を伴うこともありますので、町内からも市に要請していくということになっとなりますが、どういう風な手続き、規制をしたらいいのかということ早急に話し合っていたらいいかと、大きな問題が起きてからではと心配しております。

→平原の関係散策道の関係ですが、昨年この会でお話をいただいて、生涯学習課の方から関係課の方に取次するというお話をさせていただきましたと思いますが、商工観光課の方に担当から話をさせていただきました。基本的に私有地の所につきましては数か所立ち入り禁止的な看板を設置して不法侵入しないよう対応はいただいているのが現状であります。それ以降の話は生涯学習課としてお答えできかねます。

・吉良町女性の会<意見>

吉良町女性の会のことですが、社会教育事業の中に女性団体の育成とか青少年団体の育成と言いながら、その活動は如何に、逆に無くなったら無くなったで、お金が無いので良いという考え方はおかしいのではないかと。婦人団体の育成というのは社会教育にとって3本柱で、子ども会と青年団と昔でいう婦人会というのは3本柱で始まるはずで、もう青年団が無くなって婦人会が無くなって、今後子ども優先の事業に代わっていくのですが、実は家庭教育というのは非常に生涯学習のメインにならなくちゃならないといった気がします。

→女性の会の補助金が無くなって良いと取られたとしたら私の説明が悪くて申し訳ありません。補助金が無くなって良いのではなく、女性の会として広く全般に活動していくことが出来なくなったので、活動を今年度で中止すると女性の会から話がありました。ただ、女性の会としては無くなりますが、先ほどお話ししましたとおり、女性防災の関係と福祉の関係には力を入れていて、別にそれぞれ防災関係の任意団体、福祉関係の任意団体として活動を進めるとお話をいただいております。消防や福祉課の方には取次させていただいて、引き続き女性の活動ができるような形にさせていただく予定です。

・文化財保護<意見>

文化財保護で文化庁は、文化財保護制度の見直しを検討している。なぜ見直しをするのかというと、地域の中で個々の行政だけでは中々文化財保護ができない。保護するためには地域の中で考えていかなければならない。文化庁はそれを県に移管し、次は市に来るに決まっています。事業計画を見ると、昨年と同じ事業しか見受けられない。市として次のステップをどう考えているか見えてこない。文化財保護をどうしていくのか見えてこないけどその辺聞かしていただきたい。

→文化庁の方から今後の文化財の保存について言われておまして、市の方も文化財の保存活動計画を作ろうと内々で計画している段階であります。市全体の文化財の保存活動計画を作った後に、個別に岩瀬文庫とか糟谷亭の計画を作っていきたいと考えております。こちらの方は文化庁の補助も出ますので、こういったものを活用していきたいと思っておりますが、具体的には30年度の歳入には記載していない状況でありますので、内容としてはこのままになっているのが実情であります。

・コミュニティと社会教育<意見>

コミュニティ推進委員と社会教育はどうかかわっていけばよいのか聞きたい。に文化財の岩瀬文庫の活用で、観光地として活用することだがそれだけではない。活用するために文化財を保護しているわけではない。あくまでも文化財を守るために活用するのです。守らなければ意味がない。守る施策は、行政だけでは難しいから地域を巻き込んでいろんな計画を作りなさいというのが県や国の指導です。行政だけで動いても何もならない。地域の中で、地域の中の文化財としてそれをどういう風にして生かしていくのかってことを投げかけていかないと計画ができていかないのではないかなと気がします。

→生涯学習関係、社会教育とコミュニティとの関わりですが、基本的に生涯学習の中の家庭教育は、地域の、特に子どもの話が多くなってしまおうのですが、地域や学校との関わる部分は、凄く大きいと思います。その関係で地域コミュニティがしっかりしていれば、そういった部分で連携が取れると考えています。

→文化財は、今まではもちろん保存が重視でした。今度は保存と活用の形で行くのですが、

もちろん保存を重要視しますが、ただ、市の財政も厳しいこともありますので市だけでは出来ることに限りがあります。地域コミュニティの方、例えば糟谷亭では地元の方やボランティアの方と協力・活用しながら保存に繋げて行きたいと考えております。

・社会教育〈意見・要望〉

社会教育は、手抜きはいけない。手抜きをしたらダメになっていく。文化振興に関しては費用対効果を重視した政治が行われてきて、経済重視の社会の中で歪が出てきている。国においても地方創生の文化を取り入れていかないといい街にならないのではないかと提言がされております。そういうこともありますから、学校教育と社会教育は車の両輪で同じようなバランスが必要。そのために効率よく進めることは考えないといけないけど、基本的には手抜きはすべきでないと思う。

手抜きでなくて、行政がやる部分を少し減らしていきましょう。民間の活力を導入しながらやりましょう。

両方相まって行けばよいことですが、民間を活用といっても、行政が基本的に力を合わせていかないといけない。民間に助けを求めるところは助けを求めようスタンスにならないといけない。費用対効果を考えるとすぐには結果が出てこない。この部分は行政がやらなければならないことだと思う。例えば西尾市に美術館が無い。17万都市として残念だと思う。費用対効果を考えるとやれないといった結論は簡単に出てくる。しかし、そういうことに対してやっぱり根気強く、民間の協力も得て作っていかなければやっていかねばと思う。そういう呼び水になることは行政がやるべきだと思う。

美術館については基金積み立てをしてもらって配慮されるのも必要でないかと思うんですけど。それと関連して、一色出身の山本眞輔さんという方が見えます。芸術院会員で西尾の名誉市民でもあります。文化勲章をもらえる可能性のある人だと思うのですが、その方の作品を多く持っていて地元で寄付したいと意思がある。それを受ける施設を早く作らないといけないと他からの要請もあるのですが、西尾に記念館を作ると多くの人に来る気がするのです。

B & G海洋センター〈要望〉

スポーツ教室開催の中のB & G海洋センターにつきましては、9月から12月はもう使用できないということになりますね。先ほど課長さんの方から話がありましたとおり、台風で大きな被害を受けたということで、対応につきましては地方新聞に二度掲載されたと思います。この施設にお世話になっているのですが、なんとか維持できないかといった声を多く聞きます。毎日利用したり、トレーニングやリハビリで利用したりしているのですが、このままだと機能が低下して自然消滅する感じを受けますが、出来れば応急的にも暖房機能が生きていますので、冬も使用できないかなというのが多くの方の声です。この声だけは伝えておきたいということですのでよろしくお願いします。

教育長→今のB & Gの利用者についてご迷惑おかけしている状態なのですが、今言われたとおり、今の状況ですと九月いっぱい限度かな、それ以降どうするのかといった問題について社会教育審議会の意見をいただきたいと思います。29年度報告に一色B & G海洋センターに利用者数64,328名の方が利用してもらっているわけです。この中は委員が言われたような毎日トレーニングをしたりという人や水泳を泳いでいたり、あるいは冬季になりますと中学校の部活動として市内の中学校のほとんどの人たちが利用しているといった施設です。応急手当だけで良いのか、あるいは完璧に屋内プールとして年間通じて利用できるものにしなけ

ればならないのか、そうあたりのことを社会教育審議会の委員の皆さまにお声として私は十分受け止めて行政の方に訴えていきたい。昨日の定例教育委員会の委員さんのご意見は、みなさん是非完璧に大改修しなければならないプールだから新しいものを作ってでもやるべきで、今のままでホワイトウェイブだけでは到底収容できないので、新たな施設を作る方向を目指すべきだといったご意見でした。是非社会教育委員の皆さまのご意見をいただけたらありがたいと思います。

→教育長からお話のありましたB & Gのプールの件でございます。今回台風で上屋のテント生地が破損し、それを支える鉄骨も非常に老朽化し錆も激しく強度が保てない状況です。また、水槽の方も非常に漏水が激しい、ボイラーの方は死んではおりませんがA重油を焚いており、昨今の原油価格高騰で費用を投資している状態でございます。もう一つ問題が、上屋のテントをかぶせる工事をします。そうすると鉄鋼の強度がございません。テント生地は張力がございます。今の鉄骨では、テントをかぶせる事は不可能です。では、鉄骨も強くしてはどうなのかと言いますとそうしますと不燃材のテントを張り替えるとなると、建築確認が必要になってきます。これは建築基準法上の話であります。では建築確認を通せばよいのではないかといった話になります。ここでも問題があります。実は付属する体育館が現在の建築基準法に合致しておりません。基準不適格というものになります。そうしますと、残りの法定対応年数20年を切った体育館の全面改修をする必要があります。恐らくどなたもその大規模改修を選択しないという選択をすると思います。それが西尾市のPFI事業の方の検証室の結果でもございまして、大規模改修が来た時点であの場所では解体するといった結論になります。教育長の言葉にもありましたとおり、社会体育施設として温水プールは必要だと認識しております。どこか違う場所で検討出来たらと考えております。

<他の社会教育委員の意見>

社会体育施設としてホワイトウェイブは非常に多い利用人数です。年齢層を超え温水プールが必要なのは間違いないと思います。教育長さんが言われた通り、部活動や水泳授業が学習には必要なことであります。そういった場の確保という意味でも一人の市民の声になりますが、応急措置ではなく大規模改修で根本的に将来を見据えた施設としてぜひ実現をしていただきたいと思います。B & Gの名称を残すのも変えるのも良いかと思えます。

現在の施設は南海トラフ地震のことを考えますと、そこに子どもたちが集結しているのは非常に危険かなと思いますので、こちらの大改修よりは撤去し、新たな場所に建設することを希望しています。その地域のお母さんたちも不安を感じる、あと衛生面の関係もありますので、その意味でも新たな場所に建設を望みます。ただし、寺津地区作るということに対しましては一色の人たちから言うとちょっと反対があるそうで、施設が学校内にあるので行きにくいといった意見もあります。一部の親の意見ですが、幡豆みやこ幼稚園あたりはどうかといった意見もあります。海から少しでも離れたところに作ってほしいといった意見もあります。

会長 改修よりも新しく作る。安心安全の面から問題があるといったご意見がありますので頭に入れてよろしくをお願いします。

オープンカレッジ<要望>

文化水準がその市町の文化水準になると思います。例えば岡崎市でいうと岡崎市民大学講座があつたりします。全国版の講師が来て講演を行っている。それが西尾市ではない。寂し

いな。オープンカレッジをやっても 20 人しか集まらない。少なくとも大ホールに市民を集めて全国版の講師を呼んで講演会ができると良いと岡崎市を見て思います。西尾も負けてはいけないな。もう一つは歴史検定。とてもいいことをやってくださって、私も吉良の時にやりました。市民がみんなが参加できるような歴史検定に 150 人じゃちょっと少ないと思います。会場の問題などあると思いますが、とても良いことなのでどんどん進めていただきたいと思っています。

○その他（報告事項）

3 その他

- ①愛知県社会教育委員連絡協議会関係の連絡
- ②学校行事のご案内について